

避難支援用グッズ 体験プログラム

どんなに備えても「いざ！！」という時に役に立たなければ意味がありません。

それぞれの用途に適した用具を試し、地域にあったグッズを備えましょう。

避難支援用グッズ体験プログラム

災害発生時に自ら避難をすることが難しい人の避難支援や、負傷者搬送などの際に使用する資機材の整備を検討している自治会町内会向けのプログラムです。

自分たちの地域では、どのようなタイプの避難支援用グッズが有効なのかなど、実際に使用し、体験することで、地域の特性に合った資機材を整備することができます。

【STEP1】

実際にグッズを使用してみましょう

(グッズは泉区役所総務課で貸出をしています。)

■ 避難支援用グッズ

<p>車いす</p> 	<p>アルミ式折りたたみ車いす 搬送に必要な人数 1人 平坦な地形で、座ることのできる人ならばこれが一番楽。</p>
<p>折りたたみ式担架①</p> 	<p>軽量でシンプルな担架 搬送に必要な人数 2～6人 近距離の搬送ならこれで十分。</p>
<p>折りたたみ式担架②</p> 	<p>肩掛けのベルトが付いている担架 搬送に必要な人数 1～4人 1人で搬送する可能性があるならこれ。</p>

<p>折りたたみ式担架③</p> 	<p>座った状態で搬送できる担架 搬送に必要な人数 2～3人 階段が多い共同住宅などに向いています。</p>
<p>背負い型搬送器具</p> 	<p>背負った状態（おんぶ）で搬送できる器具 搬送に必要な人数 1人 軽量な人の搬送に向いています。</p>

【STEP2】

自分たちの地域特性にあった安全で効率の良い資機材を検討しましょう。

【STEP3】

資機材を整備し、防災訓練等で活用しましょう。

※ 併せて、災害に避難の支援が必要となる方を把握する仕組みづくりを行うことで、緊急時の対応力が向上しますので、共助推進プログラム①（安否確認実践プログラム）にも取り組んでみましょう。

実施のポイント

- 担架等を整備（購入）する際は、地域の特性と想定される搬送先（場所）を考慮しましょう。
- 体験は無理をせず、体重の軽い方を要救助者と見立てて実施しましょう。また、実施する際はヘルメットを着用するなど、安全に配慮しましょう。

※ グッズの借用

団体名、貸出期間等を泉区役所総務課防災担当と調整してください。

【泉区役所総務課防災担当 TEL800-2309】

実施の際は安全に配慮し、グッズの紛失・損傷等に注意して行ってください。